

## 令和2年度 第3回中津川市総合計画推進委員会での主な意見

令和2年9月11日(金)14:30~16:30

中津川市役所 4階 大会議室

### 議事1 第2回委員会での意見に対する回答について

#### 「地域木材需要拡大事業」

- 現在の住宅ニーズとしては若い世代を中心に、大黒柱などを使用せず、コストの安い住宅を求める傾向となっている。現在のニーズを踏まえ、地元の木材を使用してもらえりような補助事業等を検討していく必要があるのではないかと。

### 議事2 事業検証

#### 「公立保育園事業」

- さまざまな保育ニーズに答えることは難しいと思うが、待機児童0は定住促進を進める上でインパクトが大きい。引き続き、待機児童0を維持するための取組や、外に向けたPRを行うことで、人口増加につながるのではないかと。

#### 「結婚活動支援事業」

- カップル成立8組で目標100%達成というが、人口減少に歯止めをかけるという観点では目標値が少ないのではないかと。また、どれだけのカップルが、中津川市に住み、結婚し子どもを産んだかなど、追跡調査を実施する必要があるのではないかと。
- 総合戦略の基本目標である合計特殊出生率など、より大きな目標の達成を意識し、他の事業とも連携することで、様々な施策が生まれてくるのではないかと。
- 結婚についての意識は、昔と現在の状況が大きく変わってきている。婚活を全面にだすのではなく、若者の交流の場を増やすなど、産業界とも連携しながら今までと違う視点で取り組んではどうか。
- 近隣市町村で移住・定住者の取り合いになるような状況では、人口減少に歯止めがかからないので、広域エリアで連携して婚活事業に取り組んではどうか。
- 結婚を全面に出してしまうと女性が引いてしまう面もあるので、婚活ありきではなく広く出会いの場をつくる取り組みをしてはどうか。

#### 「観光推進事業」「観光広域連携事業」「体験型観光推進事業」「外国人観光促進事業」

- 観光客の誘致にしっかりと取り組んでおり、大きな成果を上げていると感じる。
- 新たな観光事業にチャレンジする取り組みに対する、観光面の支援策を実施することで、地域活性化につながるのではないかと。
- コロナ禍での観光、特に宿泊を推進するには感染症防止対策が重要なため、安心を提供できる体制構築や情報発信が必要ではないかと。
- インバウンドについては厳しい状況で、当面は回復が難しいと思われるため、指標についてもどのようにするか検討してはどうか。

- 魅力的な観光地があるが、市民にあまり知られていない状況もあるため、市民が地元を観光する施策を進めてはどうか。
- リニア関連で、産業観光にも取り組むと良いのではないか。
- 情報発信については、様々な視点から観光資源の魅力を伝えることや、東濃地域など、広域エリアが一体となり取り組むことができないか。
- 観光事業だけではなく、文化、教育、商工業や、産業現場や学校教育なども巻き込みながら事業を検討することで、よりダイナミックな事業展開ができるのではないか。
- 観光消費額の他に、域内の調達率の指標なども把握できると良いのではないか。
- インバウンド事業については、新たな顧客を獲得する施策から、ブランド強化を図る方針に移行する段階ではないか。
- 地歌舞伎などの文化団体が観光に関わることがあるが、観光事業をうまく利用して文化団体の活動が活性化するような取り組みを実施してほしい。
- 関係人口の創出を視野に入れた、観光施策を検討してはどうか。